

山野の鳥と水辺の鳥

水辺の鳥と、山野の鳥を見ることが出来る「野鳥観察園」。
4つの観察小屋から、さまざまな鳥の様子を観察してみましょう。

Check Point

樹上や藪にいる鳥たち

観察小屋の周りにある樹木や藪は、
いろいろな鳥が暮らす場所。
耳をすませて鳥の声を聞いてみよう。



ヨシ原を見てみよう

観察小屋からも見えるヨシ原も
鳥たちが好む場所。
ヨシ原で動き回る鳥の姿をよく観察してみよう。



中州に集まる鳥たち

水鳥たちが多く集まる中州。
観察小屋Cから、一番近くで観察出来るよ。

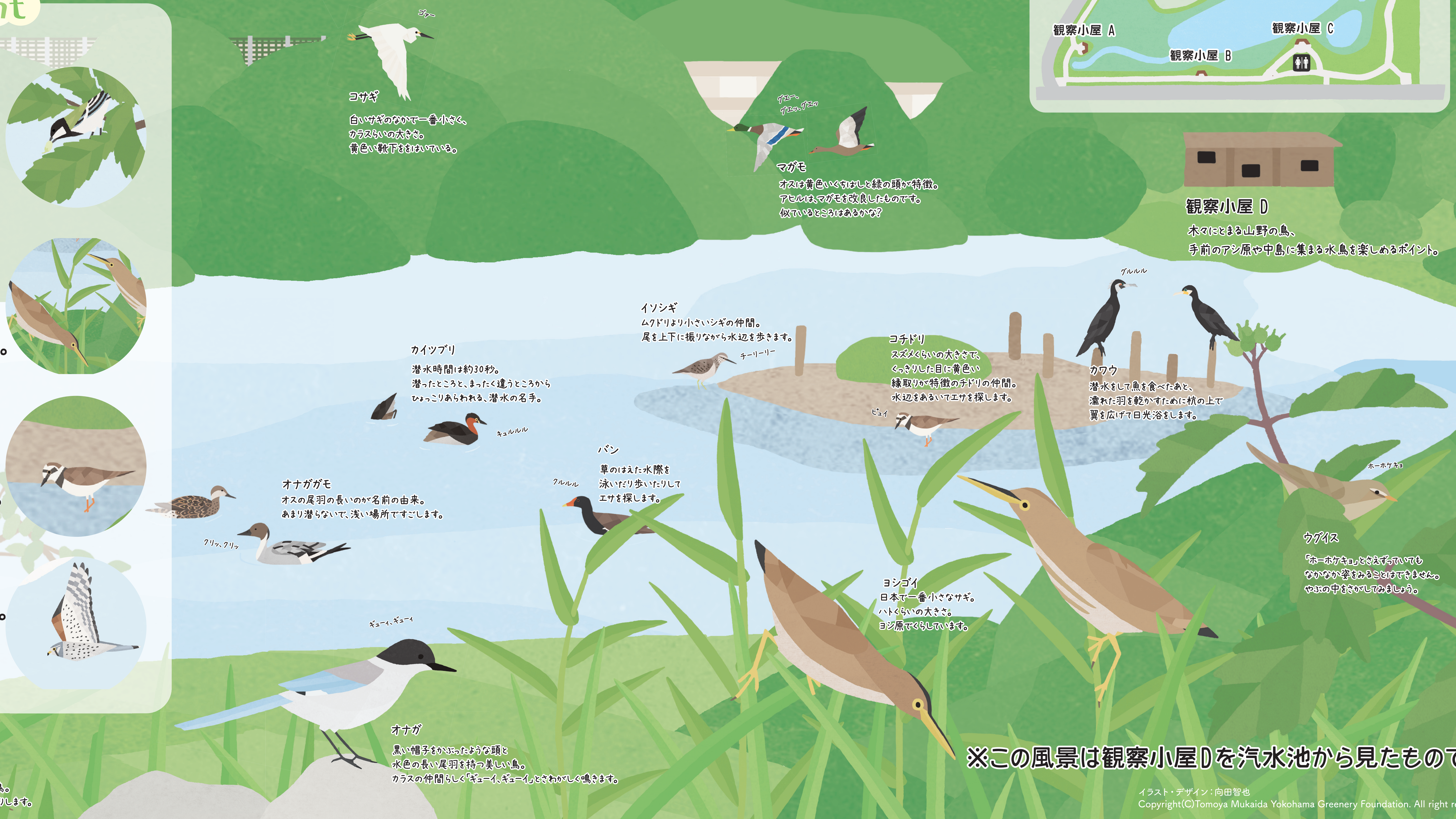


上空を見上げてみよう

はるか上空を飛ぶオオタカやチョウゲンボウ。
声やシルエットを覚えておけば、
遠くからでも見分けがつけられるよ。



観察小屋 D
木々に囲まれた山野の鳥、
手前のアシ原や中島に集まる水鳥を楽しむポイント。



コサギ
白いサギのなかで一番小さく、
カラダの太さは、
黄色い靴下をはいている。

マガモ
オスは黄色いくちかしの頭が特徴。
アヒルはマガモを改良したものです。
似ているところはありますか？

カイツブリ
潜水時間は約30秒。
潜ったところと、まったく違うところから
ひょっこりあらわれる。潜水の名手。

イソシギ
ムクドリより小さいシギの仲間。
尾を上下に振りながら水辺を歩きます。

コチドリ
スズメくらいの大きさで、
くっきりした目に黄色い
縁取りが特徴のチドリ仲間。
水辺をあるいてエサを探します。

カワウ
潜水をして魚を食べたあと、
濡れた羽を乾かすために杭の上で
翼を広げて日光浴をします。

オナガガモ
オスの尾羽の長いのが名前の由来。
あまり潜らないで、浅い場所ですごします。

バン
草のほえた水際を
泳いで歩いたりして
エサを探します。

ヨシゴイ
日本で一番小さなサギ。
ハトくらいの大きさ。
ヨシ原でくらしています。

オナガ
黒い帽子をかぶったような頭と
水色の長い尾羽を持つ美しい鳥。
カラスの仲間らしく「ギュー、ギュー」とさわがしく鳴きます。

ウグイス
「ホーホケキョ」とさえずっていますが、
ほかの姿をみることはできません。
ヤシの中をさかして見ましょう。

※この風景は観察小屋Dを汽水池から見たものです

イラスト・デザイン：向田智也
Copyright(C)Tomoya Mukaida Yokohama Greenery Foundation. All right reserved.

おねがい

- 動植物の持込、持出しはしないでください。
- 火気は使用しないでください。
- ゴミは持ち帰りましょう。
- 危険なことやほかの人に迷惑になることはやめましょう。
- バイクや自転車は所定の場所へ駐輪してください。
- 園路のみ立入可能です。
- 大声で騒ぐのはやめましょう。
- 犬には必ずリードをつけましょう。

野鳥観察園
Bird-watching Garden
指定管理者：公益財団法人横浜市緑の協会
お問い合わせ：TEL:045-782-8004（長浜公園）